

『笑字帖』に書きとめた、言葉のスケッチ、

### 第15回

## 小松 としゑ

代表取締役) (エデュケア・インターナショナル Inc.

「聞き手」 澁澤 (コモンズ投信会長) 健

#### 澁澤 場いただきお話をうかがっています。そもそも私が 小松 私は二○○四年です。奥村有敬さんと中村喜久 入られたのは何年でしたか。 川伸次さんのご推薦で同人となりました。小松さんが たのは小松さんでしたね。二○○六年に小松さんと福 『ほほづゑ』の同人に加わるきっ掛けを作って下さっ 今回の「博聞意伝」は、小松としゑさんにご登

美さんにご推薦いただきましたが、、ものを書くという

ことは大変勉強になるから、というお導きだったと思

澁澤 小松さんは、『ほほづゑ』に写真を添えた詩篇話する機会があり、『ほほづゑ』に誘われました。 書肆フローラ 二○○四年)という本を出されたときでした。 書肆フローラ 二○○四年)という本を出されたときでした。 書肆フローラ 二○○四年)という本を出されたときでした。

(「言葉のスケッチ」) を書かれていますね

小松 私は、特集テーマに寄稿される方々のように、 ・のを書ける場は他にはありませんからね。 ・のを書ける場は他にはありませんからね。 ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに基づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに表づいて書くということが出来ません。ただ ・一マに表づいて書くということが出来ません。ただ

**小松** 私は、若い頃の一時期を除いて既存の俳句の門スピレーションで書かれているのですか。 メージが結ばれませんが、小松さんはどのようなイン 澁澤

私などは俳句や詩ということになると全くイ

の私が見られている、という思いです。ただ俳句は父まうというのですから(笑)。だから、常に素のままとで、一切どなたのチェックも入らないまま載ってしな、というように、身近に感じたことを季語に乗せてム、というように、身近に感じたことを季語に乗せてよ、というように、身近に感じたことを季語に乗せて

という字を使っていろいろ考えています。、笑、とい小松 私は以前から『笑字帖』という自前のノートに七プト(観点)で書かれているのですか。

がやっていたという親しみがありましたね

えで大切なことだと考えています。得た感情であると思っています。これは文字を書くう

あり、笑うことも泣くことも、人間であるゆえに持ちうことは喜怒哀楽とともに人間だけが持ち得たことで

たことを記す備忘帖を持ち歩いています。 車を待っているときなど、ふっと思い付き、気に留めが真っ白になったりしますが、私も日常の、街中や電 強澤 殊更に文章を綴るということになると、頭の中

小松 私も今持っています。そうでないと忘れてしまいますし、思い至った時の感情が残りません。でも咄切を詠んだり、文章を綴るなどということは、私は出中を詠んだり、文章を綴るなどということは、私は出したことがあるのですが、書かなければいけないという思いが先に立って、うまくいきませんでした。それ以来そういうところには行っていません(笑)。以来そういうところには行っていましました。

澁澤

早朝と夕暮時では光の感じも違いますね。

小松 そうですね、文章を綴るのは、朝、午前中よりも午後とか夜の方が多いですね。私は空とか雲とか自まということはありませんね。そういった微妙な差趣きということはありませんね。そういった微妙な差趣を楽しみたいという感覚が自分の中にはあります。異を楽しみたいという感覚が自分の中にはあります。感慨に浸られるのですか。……例えば空をご覧になる感慨に浸られるのですか。

ますか。

そういった空を眺めるのが好きですね。ちで、東京には東京の空があると思いますし、東京ので地方に赴いて美しい澄んだ空も眺めますが、東京育小松 早朝の曙の頃か、夕暮れ時ですね。仕事や旅行

ず空を見上げます。そして、クリーンな空気と光を小松 出掛ける用事があって早く起きた時などは、必ますか、透明感があります。

澁澤 吸って〝よしつ…〟という気分になります。 ました。もちろん壮大な景色であるのに相違はないの 上からの光のもとで風景全体がフラットな印象を受け した。そして次に訪れた時は真昼間だったのですが、 の凹凸が立体的に浮かび上がり、息を呑む様な光景で がった大地が赤く染まって、しかも斜光を浴びて渓谷 時は夕暮時だったものですから、森を抜け眼 てグランドキャニオンで実感しました。 風景を立体的に浮き立たせますね。そのことは、 感したことがあります。 私も時間帯の違いに伴う光の表現演出 早朝あるいは夕暮時 最初に訪 の前に広 の差を実 の斜光は かつ

**小松** 陰影の演出ということなのでしょうね。その時ですが、最初に受けた印象とは随分違ったものでした。

あるでしょうね。でしょうし、また受けとめた時の感情の起伏の具合もでしょうし、また受けとめた時の感情の起伏の具合もある間帯による光と陰影、そしてその時の風の具合もある

小松 ごく普通の女の子でしたが、いつも「なんでかいな?」という思いがありました。学校の授業においてか、本を読むことが好きでしたが、文学といいますか、本を読むことが好きでしたので、常に「なんで?」という疑問を抱いていました。「なんで?」「どうして?」と聞くものですから、親からは、理屈っぽうして?」と聞くものですから、親からは、理屈っぽうして?」という疑問を抱いていました。「なんでかく言われていました。家には本が沢山ありましたね。 子供には訳の分からない語の本などもありましたね。 子供には訳の分からない語の本などもありましたね。

ました。

しょうか (笑)。 ね。私の少々理屈っぽいところは父親似ということでね。私の少々理屈っぽいところは父親似ということで人はどちらも同様でしょうが、我慢強い家庭人でした人はどちらも同様でしょうが、我慢強い せいごく普通の主婦であり母親でしたね。昔の

## 人と人との出会いのご縁

**澁澤** 東京で生まれ東京でお育ちになられたというこ

小松 そうですね、ごく一般的な家庭でしたね。贅沢 小松 そうですね、ごく一般的な家庭でしたね。贅沢 かが課に近らうようなことはなかったのですが、初めまで親に逆らうようなことはありませんでした。ただ、ど 困っていたということもありませんでした。ただ、ど 困っていたということもありませんでした。 では、 が、初め で見したのがその時です。 そのお蔭で、以来勉学する学校の選択などは、 が、初め で見いたのがその時です。 でしたし、生活に

人を雇っていたようです。素性の分かった者を雇うと実は当社としては初めての求人で、それまでは縁故です。の創業です。私が服部紙商事の求人に応募した時、新古くからの店が多く、服部紙商事も江戸期(万治二が古くからの店が多く、服部紙商事も江戸期(万治二が古くからの店が多く、服部紙商事も江戸期(万治二が古くからの店が多く、服部紙商事も江戸期(万治二年)といる。



営業業務に行きたかったのですが社長室の秘書勤務と 入社しました。一通りの研修を受けた後に、私自身は いうことでしょうか。ともかくその折二十人くらいが

小松 澁澤 があり、 服部禮次郎さんは服部紙商事にもお見えになったこと 健次郎社長は同じロータリークラブでご一緒でした。 られた服部禮次郎 お話して、 して配属されました。 当時の社長はどなただったのですか。 服部健次郎社長です。『ほほづゑ』の同人であ 後日『ほほづゑ』の同人懇談会でそのことを 懐かしく歓談させていただきました。 (二〇一三年二月逝去) さんと服部

> ことを考え始めました。 りませんでした。それから、 当時は、結婚をするというと女性は退社しなければな て、六年間勤めた会社を、結婚を機に退社しました。 したが、私なりに工夫して一生懸命務めました。そし 付、受け取った通信、文書の整理、管理というもので 方々の情報整理からファイルの作成、通信文の作成送 ので、秘書というお仕事は、社長を訪ねて来られた 当時はまだパソコンもメール通信もない時代でした 退社とともに学ぶという

澁澤 なことを勉強されたのですか。 のステップということだったのでしょうが、どのよう のビジネスアドバイザー、コーディネートのお仕事へ 結婚を機に退社されたということですが、

澁澤 小松 のですか。 いていた大竹美喜さんからもアドバイスされました。 を取り寄せて勉強しました。後に親しくさせていただ 須だと思いましたので、英語の講座を探したり、教材 これからのビジネスは語学力、ことに英語が必 大竹美喜さんとはどういうご縁で知り合われた

小松 国会議員のクリスチャンの会がありますが、 年 に一度の大きな集いで、ある方から大竹さんを紹介されました。その時は名刺の交換だけのつもりだったのですが、翌日秘書の方から電話があり、「昨日大竹とお会い戴いた小松さんですね。大竹からの依頼として、お会い戴いた小松さんですね。大竹からの依頼として、おっさば頼かと思いました。でもお話は、私に「きらめき未来塾」で講師をして欲しいというご依頼かと思いました。でもお話は、私に「きらめき未来塾」で講師をして欲しいということでした。ちめき未来塾」で講師をして欲しいということでした。

小松 アフラック(アメリカ大使館の広報課にお願いし創業者の大竹美喜さんが二○○五年に「次世代を担う高校生のための未来塾」(広島県庄原市)を開催されたのが始まりですから十年目になります。そして私が講師をお引き受けしたのが五年目の時(二○一○年)でいる。岐阜県飛騨市で行われた「きらめき未来塾20した。岐阜県飛騨市で行われた「きらめき未来塾20した。岐阜県飛騨市で行われた「きらめき未来塾20した。岐阜県飛騨市で行われた「きらめき未来塾20した。岐阜県飛騨市で行われた「きらめき未来塾20

澁澤

十年目ということは、一

期生の人たちは二十七、

八歳になるということですね

なりました。以来英語の講師の担当ということになって大阪から講師としての人を派遣していただくことに

ています。

澁澤

「きらめき未来塾」のことをもう少し詳しくお

という主旨で広島で始められた、高校生を対象とした小松 「きらめき未来塾」(二〇一一年四月にNPO法話してくださいますか。

塾です。

小松 二年前です。夏休みに合わせて四泊五日の日程 小松 二年前です。夏休みに合わせて四泊五日の日程 で淡路島で行なった「きらめき未来塾2013」です な。高校生が対象ですから、講師も若い人をお呼びし は、二年前です。夏休みに合わせて四泊五日の日程

お手伝いをして下さっているボランティアの人たちが生たちのセミナールも別途持っています。それで塾の生たちのです。ですから「きらめき未来塾」の卒業

いますが、みんな塾の卒業生たちです。

いたのですか。
たちはどういう基準で選ばれて、どういう経路で来てたちはどういう基準で選ばれて、どういう経路で来て

講費、宿泊、食費すべて無料です。
まってもらいました。塾への交通費は自前ですが、受とか各学校に募集を掛けて、学校などから応募して集とか各学校に募集を掛けて、学校などから応募して集

二〇〇五年頃でしたか、すると「きらめき未来塾」がいて、大竹さんにはそこでお会いしたことがあります。授をしていた時に、大竹喜美さんも客員教授をされて授をしていた時に、大竹喜美さんも客員教授をされて

始まる頃ですね

大切ですね。そのことは大竹さんとのお仕事を通してておられましたから。大竹さんの考え方はフレキシブでおられましたから。大竹さんの考え方はフレキシブのということが、ものごとが始まり進展していく上でかということが、ものごとが始まり進展していく上でかということが、ものごとが始まり進展していく上でかということが、ものごとが始まり進展している。

なことですが、要はそれをどうやって果たすかという考えさせられましたね。お金を得るということは大切

ことですね。

本でしきご縁ですね。 本でしきご縁ですね。私はお金は、水、みたいなものだと 思っています。なければ喉が渇きますが、全くないと 思っています。なければ喉が渇きますが、全くないと 思っています。なければ喉が渇きますが、全くないと によっては、お金に色は着けられる、と思っています。 によっては、お金に色は着けられる、と思っています。 によっては、お金に色は着けられる、と思っています。 でいた でいた がぶがぶ飲んでい と思いますが、量いた でいた でいた でいます。 でいた でいる。 の出会いも、がぶがぶ飲んでい と思いますが、 ことの出会いと によっては、お金に色は着けられる、 と思っています。 によっては、お金に色は着けられる、 と思っています。

**澁澤** そうですね。詳しい経緯をたどると、どういう

ご縁でしたかね。

げていて親しくさせていただいています。そしてあるさんですね。渋沢裕さんとはイグナチオ教会で存じ上りは、澁澤さんのお父様の従兄弟にあたられる渋沢裕のいたのですが、澁澤さんとのご縁のそもそもの起こし

時、アメリカに移住されていた澁澤さんのお父様を、 裕さんが紹介して下さいました。その頃私の娘がアメ 行っていたこともあって、アドバイスをいただきました。その折にお父様から澁澤(健)さんのことをお聞 た。その折にお父様から澁澤(健)さんのことをお聞 た。その折にお父様から澁澤(健)さんのことをお聞 た。その折にお父様から澁澤(健)さんのことをお聞 かのインターネット総合研究所とのシンポジウム(「イ ンターネット時代における医療と教育を考える」二〇〇 いした時でしたね。

がありました。

小松 当時インターネットが入って来たばかりの頃で、小松 当時インターネットが入って来たばかりの頃で、私はインターネットと医療、を直結させようと考えておターネット総合研究所を立ち上げられた藤原さんがターネット総合研究所を立ち上げられた藤原さんがられたこともあり、シンポジウムを共催することにならました。そのシンポジウムには財団法人渋沢栄一記のました。そのシンポジウムには財団法人渋沢栄一記のました。そのシンポジウムには財団法人渋沢栄一記のました。

○○四年十一月)でした。

○○四年十一月)でした。

赤記むようになりました。誘われて龍門社(二○○三年に財団法人渋沢栄一記念財団と改称)にも入りました。

本読むようになりました。誘われて龍門社(二○○三年に財団法人渋沢栄一記念財団と改称)にも入りました。

赤記むようになりました。誘われて龍門社(二○○三年に財団法人渋沢栄一の雅号)

ことになりました。お手伝いのつもりが中心的な役割さん東京に作って下さい」と依頼されてお手伝いするりました。ただそれは東京ではなかったので、「小松EOをされた西本嘉雄氏が日本シビタンクラブをつくいていました。これはアメリカのアラバマ州にあるシいていました。これはアメリカのアラバマ州にあるショ時私は東京シビタンクラブというのを立ち上げて

ました。 会長 一九九七~二○○六年)を担うことになりました。 シビタンクラブというのはアメリカでは、ロータ にが会員を募って、勉強会と称して各分野から講師 にの会員を募って、勉強会と称して各分野から講師 にの会員を募って、勉強会と称して各分野から講師 をお招きし、毎月一回六年間講演会を開催しました。 をお招きし、毎月一回六年間講演会を開催しました。 をお招きし、毎月一回六年間講演会を開催しました。 まいました。 をお招きし、毎月一回六年間書演会を開催しました。 まいました。 さいました。 をお招きし、毎月一回六年間書演会を開催しました。 ました。 ました。 というのはアメリカでは、ロータ というのはアメリカでは、ロータ というのはアメリカでは、ロータ

# アライアンス・コーディネーター

> 澁澤 なぜアメリカで登記されたのですか。 行い、日本法人にして十年になりました。

**澁澤** デラウェア州の会社法(安価・簡便・手厚い保**小松** 安いからです。

護)ですか。

小松 そうです。デラウェアで登記しました。多額の 資本金が要りませんし、大きい仕事をする訳ではあり ませんので。その前に、社名のエデュケア・インター ませんので。その前に、社名のエデュケア・インター なのです。フォニックス学習法ですよ。個人レッスン を始めて、幾人からも頼まれるようになり拡がってい たから を始めて、幾人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人がらも頼まれるようになり拡がってい を始めて、過人からも頼まれるようになり起がってい を始めて、過人がありませんし、大きい仕事をする訳ではあり

を使うということが分かっていましたから、´英語を は深 それは受験のための英語の授業は私のやることではな 小松 受験のための英語の授業は私のやることではな では、ずっと東京で暮らしておられたのに、どうして では、ずっと東京で暮らしておられたのに、どうして では、ずっと東京で暮らしておられたのに、どうして ではないのだろうと思っていました。

験を出来る範囲で分かちたいと思いました。を聞くと、アメリカと日本を行き来している自分の経自在に使えるようになりたいのに出来ない、という声

出来るようになりました。
出来るようになりました。
出来るようになりました。
出来るようになりました。
二年生、三年生ではまだ駄目で、四年生くらいになってやっと会話がではまだ駄目で、四年生くらいになってやっと会話がではまだ駄目で、四年生くらいになってやっと会話がではまだ駄目で、四年生くらいになってやっと会話が出来るようになりました。

きの思考) はどこから来ているのですか。 本深 小松さんの、そのポジティブシンキング(前向して教育の機会を与えるは親の役目と思っていました。 した。それは生きた英語を身に付けさせたいと思ったからです。これからの人は言葉は二ヵ国語は必要、そからです。これからの人は言葉は二ヵ国語は必要、そのですか。 と思ったのからです。これからのですか、その前に修道会がやっているインターナショナル・スクールで学ばせまが、その前に修道会がある。

のことは大事だと思っています。

誰深 この対談は最後に次世代に向けたメッセージかありました。そこで敢えて言葉にしていたがなとしたら、どのようなメッセージをいただいているのですが、今日はすでにいろいろメッセージがありました。そこで敢えて言葉にしていただくとしたら、どのようなメッセージをいただけますか。あります。人生いろいろな出会いに学ぶ」という言葉があります。人生いろいろな出会いに学ぶ」という言葉があります。人生いろいろな出会いがあると思います。出会いの対象は老若男女に関わらず、自分以外から学べることの有難さを大切にして欲しいです。そして感謝ですね。出会い、学び、感謝です。私の仕事ですので、思い悩むだろう、という思いが強くありましたので、思い悩むだろう、という思いが強くありましたので、思い悩むだろう、というアライアンスの仕事ですので、こ

だと思います。ありがとうございました。 **澁澤** 、誰かと誰かを繋ぐ、、I Love You、いい言葉 ご両親から愛され、愛してね。ということです。 があります。Father And Mother I Love You.です。

(こまつ としゑ/しぶさわ けん)〔二〇一六年一月七日収録〕

小松

しょうか。幼いころから〝なんでだろう〟〝どうして

なんでしょうね、根が単純なのじゃあないで